

形成冷凍クレープ生地の量産体制の確立による新規顧客層への展開

高品質のクレープ生地の量産化で新たなクレープ市場を創造する

- 事業分野類型 一般型、設備投資のみ
- 革新的サービス分野 「付加価値の向上（新規顧客層への展開、商圈の拡大、独自性・独創性の発揮）、効率の向上（サービス提供プロセスの改善）」

事業の概要

平成21年1月クレープ専門店を開業、移動販売事業（イベント出店）も開始しました。その後、ポップコーン製造販売、冷凍クレープ生地製造販売と事業を展開し、現在は3つの事業（クレープ冷凍成形生地の製造販売、ポップコーンの製造販売、クレープ等の移動販売）を軸に、「販売現場を良く知る菓子メーカー」を目指しています。今回の補助事業では、独自の形成技術を用いた専用機械によるクレープ生地の量産体制を整え、自社工場における製造と急速冷凍、販売現場での自然解凍により、クレープ生地本来の味を維持しつつ量産化を実現しました。

補助事業の内容

(1)取組の経緯

ラッピングカーによるクレープの移動販売は、週末に行われる大きなイベント中心にピーク時に年間250日程度行っておりました。従来のクレープ生地は1枚1枚手焼きであり、スタッフ1名が1台の機械で1時間当たり30食提供するのが精一杯で、売上を伸ばすにも限界がありました。また、大きなイベント会場では行列ができることもしばしば有り、待ち時間に対しお客様の不満の声が聞こえてきました。創業時から、何とかもっと大勢のお客様に速やかに商品を提供できないかと試行錯誤し、専用機械の導入による量産化に向け今回の補助事業の取組みに至りました。

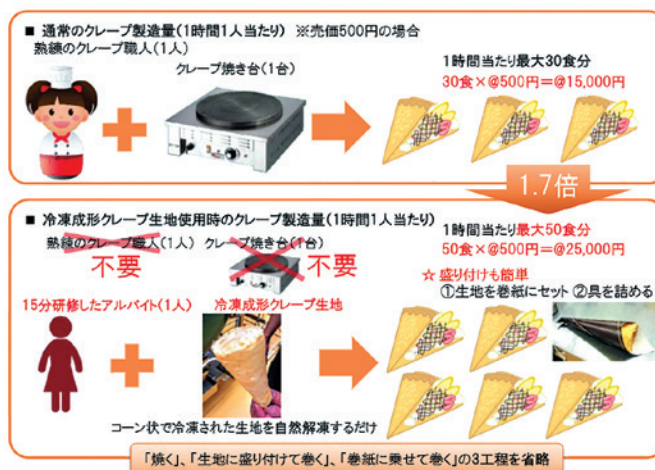
(2)実施内容

①独自の生成技術を用いた大型クレープ生地量産機の開発

既存のクレープ生地の自動成形機は直径20cm位が基本サイズで、国内唯一の機械メーカーも最大30cmまでの製作実績しかなかったため、使用する部品を特別な仕様にするなど相当な工夫を凝らし、クレープ専門店が扱う直径38cmの生地を量産できる成形機（写真1）を開発することができました。この専用機の導入により革新的な製造工程（図表1）を構築し、クレープ（生地）の量産化と短納期化を実現することができました。



写真1：補助事業による生地成形機



図表1：専用機械導入後の製造工程

②自社工場での製造・急速冷凍と販売現場での自然解凍による大量商品提供プロセスの構築

補助事業取組み時点で、丸く焼いたクレープ生地を巻きつけると中が空洞の円錐形になる生地形成の型(カタ)と製法について試作開発を進めていました。大きなイベント会場でタイムリーに商品を提供するには、その型と製法で事前に生地を製造し、急速冷凍した上で冷凍庫に入れ、冷凍状態で搬入します。通常冷凍ではなく急速冷凍することで生地の品質を守り(風味を閉じ込め)、その後の自然解凍で限りなく手焼きの生地に近いことが可能です。厚さの薄いクレープ生地は常温ですぐに解凍できるため、事前に自社工場で量産しておいた生地をイベント会場に持ち込み、お客様の目の前で提供できるため待ち時間を短縮でき、短時間に多くのお客様に商品を提供することが可能となるため、売上の増加にも繋がります。

事業化の成果

当初1日4千枚の冷凍成形生地(写真2)の製造を計画していましたが、製造工程に様々な工夫を加えることで当初計画の2倍以上の量産化が可能となりました。専用機械設置に際し、電力使用量が予想以上に増加することや製造過程での型崩れを防ぐためにクレープ生地のレシピ見直しなど新たな課題が生じましたが、機械メーカーや材料仕入先、支援機関の助言や協力により諸課題をクリアできました。現状、クレープ冷凍成形生地の量産化の目途が立ち、安定供給が可能となりました。すでに、複数事業者との継続的な取引も開始しております。



写真2: 冷凍クレープ生地1ケース (10個入×7袋)

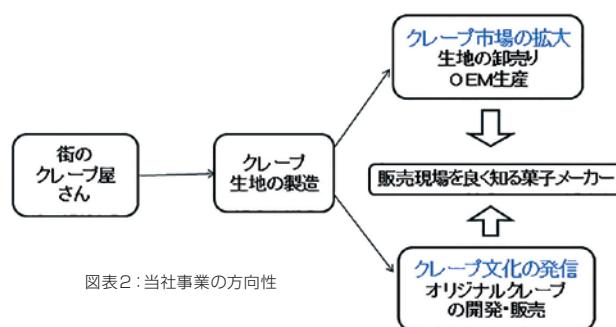
今後の展望



写真3
アイス入ブリュレクレープ

当社の強みは、常にお客様の目線を意識した商品開発力と短納期かつ安定した供給力であると自負します。今回の補助事業でクレープ生地成形機を導入し冷凍成形生地の量産化に成功したことで、全国のクレープ専門店への卸販売やOEM生産も可能になり、取引先も着実に増えております。

今後は、当社の目指す企業像である「販売現場を良く知る菓子メーカー」として、経営理念にも掲げる「夢のある商品創り・・・」を強化したいと考えます。例えば、「アイス入ブリュレクレープ」(写真3)はすでに商品化できており、イベント会場での販売実績もあります。また、滋賀県産の果実や野菜を用いた商品開発など様々なアイデアを膨らませ、全国(全世界)のクレープ市場に、社名の由来であるスナッツ(スナック&スイーツ)という新たなコンセプトで、少しの贅沢感と笑顔と幸せを創造する商品を届けることで、クレープというお菓子の可能性を広げたい(図表2)と考えます。



図表2: 当社事業の方向性

会社概要

事業者名	株式会社 スナッツフーズ	代表者名	原田裕次郎
所在地	滋賀県野洲市南櫻 1831 番地 2	設立年月日	平成 25 年 7 月 3 日
連絡先	TEL : 077-587-0234 FAX : 077-587-0235 Email : harada@snats-foods.com	企業 HP	http://www.snats-foods.com/ 「クリスピーポップコーン®」 通販サイト : http://crispy-popcorn.com/
資本金	1,000 万円	従業員数	2 人 (パート 4 人)
業種	食料品製造業	主要製品	クレープ冷凍成形生地
得意分野	クレープ生地、ポップコーン		クリスピーポップコーン R
事業担当者	部署・氏名: 代表取締役・原田裕次郎		
	TEL : 077-587-0234		Email : harada@snats-foods.com